



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 東京汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9193 URL <http://www.tokyokisen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 佐藤 晃司

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,137	0.3	362	27.4	561	13.7	420	23.9
29年3月期第2四半期	6,155	2.2	499	18.3	650	18.1	552	7.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 433百万円 (2.1%) 29年3月期第2四半期 424百万円 (33.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	42.25	
29年3月期第2四半期	55.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	26,569	20,516	74.0
29年3月期	26,445	20,367	73.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 19,648百万円 29年3月期 19,543百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				28.00	28.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当23円00銭 記念配当5円00銭

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,116	2.3	413	50.1	680	40.7	555	43.9	55.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,010,000 株	29年3月期	10,010,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	62,620 株	29年3月期	60,931 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	9,948,224 株	29年3月期2Q	9,950,636 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、好調な海外経済や年初からの円安傾向を受け輸出企業を中心に企業業績は回復基調となりました。また、雇用・所得環境も改善し個人消費は底堅く推移しております。

当社グループの主たる事業である曳船事業を取り巻く状況につきましては、国内景気の回復を受け、減少傾向が続いていた東京湾への入出港船舶数は、底打ち感が見られる状況となりました。

このような経済環境のなかで、当社グループは総力を上げて業績向上に努めましたが、売上高は前年同期に比べ17百万円減収の6,137百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

利益面では、原油価格が年初から上昇し燃料費が増加したことに加え人件費が増加し、営業利益は362百万円（前年同期比27.4%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益が増加しましたが561百万円（前年同期比13.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益（曳船の売却益）が105百万円減少し420百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

#### 曳船事業

曳船事業は、横浜川崎地区では、年初から燃料油価格が上昇し燃料油価格調整金が適用されたことや、タンカー、LPG船などの危険物積載船の作業が増加したこともあり増収となりました。また、東京地区もコンテナ船の増加に加え燃料油価格調整金の適用により増収となりました。一方、横須賀地区では、エスコート作業や湾口水先艇作業の低迷に加え、ハーバータグ作業が減少し減収となりました。千葉地区では、燃料油価格調整金が適用され増収となりましたが、石油精製各社のバースの定期点検・修理によりタンカーの入港数が減少したことに加え、造船所作業も減少し減収となりました。

また、その他部門では千葉県銚子沖洋上風力発電実証研究事業向けの交通船業務が前期末で終了したため減収となりました。

この結果、曳船事業セグメントの売上高は94百万円減少し4,342百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

次に利益面では、営業費用のうち燃料費や人件費が増加し、営業利益は156百万円減少し293百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

#### 旅客船事業

旅客船事業のうち横浜港における観光船部門は、ゴールデンウィークは好天に恵まれ増収となりましたが、第2四半期に入り8月の天候不順や台風の到来による影響を受け納涼船は低迷いたしました。

久里浜・金谷間を結ぶカーフェリー部門は、荒天により欠航率は上昇したもののバスツアー団体客の増加により増収となりました。

この結果、旅客船事業セグメントの売上高は42百万円増加し1,405百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

利益面では、燃料費や用船料が増加しましたが、増収効果により営業利益は9百万円増加し68百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

### 売店・食堂事業

売店・食堂事業は、旗艦店の金谷センターでは高単価の新メニュー効果に加え団体客の増加が寄与し、売上高は34百万円増加し390百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

しかし利益面では、売上原価増に加え人件費も増加したため、44万円（前年同期は8百万円の営業損失）の営業利益に留まりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、124百万円増加し26,569百万円となりました。

流動資産の部では、売掛金が106百万円減少し、固定資産の部では、船舶が68百万円、建設仮勘定が197百万円増加いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ、24百万円減少し6,052百万円となりました。流動負債の部では、支払手形及び買掛金が142百万円減少し、その他流動負債が183百万円増加いたしました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、148百万円増加し20,516百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引により利益剰余金が141百万円増加し、為替換算調整勘定が42百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.9%から74.0%と0.1ポイント増加いたしました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね当初予想の範囲内で推移しており、通期の連結業績につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました発表数値から修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,203,590	11,179,010
売掛金	2,163,192	2,056,924
商品	22,309	23,087
貯蔵品	84,183	82,325
繰延税金資産	90,082	83,115
その他	251,791	248,034
貸倒引当金	△3,518	△3,546
流動資産合計	13,811,631	13,668,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	308,199	308,219
船舶（純額）	5,431,742	5,500,360
土地	1,435,628	1,435,628
その他（純額）	389,483	591,727
有形固定資産合計	7,565,052	7,835,935
無形固定資産	44,090	61,418
投資その他の資産		
投資有価証券	1,918,974	1,918,470
関係会社株式	2,532,607	2,527,305
繰延税金資産	178,539	172,955
その他	494,110	479,767
貸倒引当金	△99,609	△95,209
投資その他の資産合計	5,024,622	5,003,288
固定資産合計	12,633,766	12,900,642
資産合計	26,445,397	26,569,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	989,570	846,887
短期借入金	1,563,584	1,568,584
未払法人税等	210,349	168,715
役員賞与引当金	40,000	20,000
賞与引当金	225,884	211,609
その他	182,222	365,284
流動負債合計	3,211,609	3,181,080
固定負債		
長期借入金	313,091	286,299
役員退職慰労引当金	458,111	458,661
特別修繕引当金	398,404	418,493
退職給付に係る負債	1,424,645	1,434,104
繰延税金負債	237,569	242,157
資産除去債務	3,064	3,085
負ののれん	21,359	16,612
その他	9,641	12,449
固定負債合計	2,865,885	2,871,864
負債合計	6,077,495	6,052,944
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	18,710,877	18,852,581
自己株式	△43,793	△45,035
株主資本合計	19,242,941	19,383,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351,763	344,439
為替換算調整勘定	42,562	△87
退職給付に係る調整累計額	△93,805	△79,427
その他の包括利益累計額合計	300,521	264,924
非支配株主持分	824,439	868,321
純資産合計	20,367,901	20,516,649
負債純資産合計	26,445,397	26,569,593

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	6,155,065	6,137,969
売上原価	4,641,216	4,738,002
売上総利益	1,513,848	1,399,966
販売費及び一般管理費		
販売費	135,553	149,040
一般管理費	878,553	888,332
販売費及び一般管理費合計	1,014,107	1,037,373
営業利益	499,741	362,592
営業外収益		
受取利息	2,947	602
受取配当金	27,421	29,249
負ののれん償却額	4,746	4,746
持分法による投資利益	98,500	136,907
その他	29,672	37,926
営業外収益合計	163,287	209,432
営業外費用		
支払利息	12,296	9,460
その他	601	1,535
営業外費用合計	12,898	10,995
経常利益	650,129	561,029
特別利益		
固定資産売却益	176,259	71,136
特別利益合計	176,259	71,136
税金等調整前四半期純利益	826,389	632,166
法人税、住民税及び事業税	215,971	158,514
法人税等調整額	20,356	3,645
法人税等合計	236,328	162,159
四半期純利益	590,061	470,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,987	49,728
親会社株主に帰属する四半期純利益	552,073	420,277



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	590,061	470,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,542	△7,799
退職給付に係る調整額	14,751	14,378
持分法適用会社に対する持分相当額	△166,319	△42,649
その他の包括利益合計	△165,110	△36,070
四半期包括利益	424,950	433,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386,608	384,681
非支配株主に係る四半期包括利益	38,342	49,253

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,436,213	1,362,792	356,058	6,155,065	—	6,155,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,210	28,236	2,165	32,611	△32,611	—
計	4,438,424	1,391,028	358,223	6,187,677	△32,611	6,155,065
セグメント利益又は損失(△)	450,152	58,579	△8,990	499,741	—	499,741

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,342,063	1,405,195	390,709	6,137,969	—	6,137,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,795	31,620	2,259	35,674	△35,674	—
計	4,343,858	1,436,816	392,968	6,173,644	△35,674	6,137,969
セグメント利益	293,576	68,569	447	362,592	—	362,592

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。